

下記QRで「カムロ窯」のInstagram、X (旧Twitter)、Facebookを見ることができます！

地域おこし協力隊通信



鮭川村で販売予定の器

最近、マルシェへの出店・カムロ窯の経営などを行ないながら、新しい事にも取り組んでいます。昨年、鮭川村の地域おこし協力隊の方と制作してきたコラボ器もついに完成しました。出来上がった器は青緑色の釉薬と鮭のデザインを特徴としており、鮭川村内限定で販売する予定です。

カムロ窯での新しい取組み 限定販売の器と「絵付け体験」



こんにちは！
今月号は秋元がお伝えします！

また、カムロ窯では新たに「絵付け体験」を始めました。素焼きしたお皿に、数種類から色を選んで自由に絵を描くことができます。従来の体験より子供からお年寄りまで気軽に体験することができ、是非サロン活動などでご利用ください。

今後は、10月に仙台市のイベントへの参加、依頼頂いた器の制作などを予定しています。SNSでも発信しておりますのでぜひご覧ください。



Instagram



X (旧 Twitter)



Facebook



絵付け体験の器

集 落 支 援 員 だ よ り



大堀地区
井上 あゆみ 支援員

大堀小と集落をつなぐ懸け橋へ

大堀小学校には地域住民、先生、教育委員会が構成されている学校運営協議会があります。協議会では、地域に開かれた、地域と共に育つ学校を目指した取り組みを進めています。

以前の会議で、実習等において地域の方からの協力があると、子どもたちにとってより良い授業内容になるのではという意見が出されたことから、「地域人材協力者事業」という名称で協力者の募集を行いました。

事業開始から3年が経った現在、地域の協力者が30名になり、家庭科の裁縫や調理実習、図画工作の授業にご協力いただいております。「孫が小学校を卒業して、なかなか学校に来る機会がなかったから、すごく楽しかった。」との感想もいただいています。

また、授業の支援の他、先生方と子供たちだけではなかなか手の回らない畑の管理についても「畑楽会（はたらくかい）」が結成され、地域の方による新たな支援が始まっています。今後、集落支援員として、少しでも学校と地域をつなぐ役割を担ってきたいと思っています。

温水プールを利用した 水泳授業で生涯スポーツ の充実を目指して！



きらい
★
最上の
子どもたち

西公園温水プール

町民の健康づくりや体力向上のため、オールシーズンで泳げる町営の屋内温水プール（以下「温水プール」）が完成したのは昭和61年。当時は、公営で温水プールを設置している自治体は少なく、小さな町の大きな取り組みとして一躍注目を浴びました。

現在でも、安価で利用できる親しみやすい温水プールは大変人気があり、町民のみならず、町外の皆様をはじめ高校などの水泳部の練習でも活用され、一昨年のパラリンピックに出場した選手も利用していたそうです。今回のシリーズでは、温水プールの活用と、水泳授業がどのように子どもたちの成長に関わっていくのかをお伝えします。

屋内プールの メリット

7月に入ると、町内の小学校では、水泳の授業が開始されます。これは、小学校の「学習指導要領」に基づき、水泳が必修とされているからです。10数年ほど前は、各小学校に設置されていた屋外のプールを利用していましたが、児童数の減少や管理の大変さなどの理由から、町内の全小学校で西公園の温水プールを使う

水泳授業の内容

次に、授業の内容について紹介します。低学年では「水遊び」を中心として、水の中



ようになりました。一般的に、学校のプールは屋外に設置されていることが多く、雨降りや、寒い日は授業ができません。移動に時間がかかっても、屋内のプールで泳ぐことのできる最上町の小学生は、天候に左右されることなく授業ができるため、恵まれた環境で計画的に水泳ができます。

温水プールを活用するメリットは、何と言っても水質と水温の管理を徹底することで、子どもたちの衛生面や体調面を配慮できることです。この温水プールによって唇を青くして授業を受けている児童は、見られなくなりました。



を歩いたり、もぐったり、浮いたりする心地よさを感じるような授業を行なっています。また、陸上とは違う水の抵抗を感じ、水中で息を止めたり吐いたりすることで水に慣れるための訓練の一つとしても行なわれています。

中学年は、「水泳運動」として、低学年よりもレベルアップし、ビート板を使ったバタ足などの浮いて進む能力や、もぐったり浮いたりすることと安定した呼吸法を身につけます。

高学年になると「クロール」や「平泳ぎ」の泳法に挑戦し、自分自身で泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばすなど、記録に挑戦します。

このように学年を重ねるごとに成長していくには、計画的に継続していくことが大切

水泳は生涯スポーツ

で、場合によっては泳げることに命を守ることができ、大人になってから健康増進のために水泳に親しむ足がかりを作る上で、水泳の授業は小学生にとって大変大事な学びとなっています。

学校の授業として必修となっている水泳は、子どもから高齢者まで行なえる生涯スポーツとして、高い人気を得ています。水の浮力を利用したの歩行や、泳いで運動は健康増進にも大きな効果があるとされています。

「もがみ西公園スポーツクラブ」では春、秋の2回「子ども水泳教室」を開催し、毎週水曜日と土曜日に、それぞれ1時間程度の内容で10回のクラブ活動を実施しています。

この水泳教室が、天候や季節に関係なく開催することができるのは、温水プールがあるからこそです。最上地区唯一の公営の温水プールは町の宝であり、自慢できる施設の一つです。

町では、夏休み中子どもたちに無料開放しています。温水プールを利用し、子どもたちの泳力を伸ばして、生涯スポーツとして水泳が楽しめるようになってほしいと願っています。